

クバの葉を手で製く石垣金星さん。  
クバの葉1枚で2枚のうちわを作ることができる。



クバの葉でうちわを作るには、まず葉を乾燥させなければなりません。乾燥は夏の強い日差しでも一日に片面しか乾燥させることができなく、完全に乾燥させるには2日間かかります。冬場の太陽では乾燥させるのは難しいそうです。その後固定バサミで大まかな形をつくり、ブラシで葉についたホコリやゴミを取り除き、きれいに洗います。そして葉を広げるためにスチームアイロンで葉を伸ばします。アイロンがなかつた頃は、畳の下に敷いたりして伸ばさなければならなかつたため、大変な作業だつたと金星さんは話します。最後にハサミでうちわの形に整え完成です。クバの葉はうちわのほか、笠や蓑(みの)、釣瓶(つるべ)、柄杓(ひしゃく)など、八重山では昔から民具の材料としてよく使われています。

7月10日、この日は西表在住の石垣金星さんから工芸指導を受け、クバの葉でうちわ作りを行いました。クバの葉のうちわは、主に豊年祭やお盆のアンガマで使われます。金星さんは西表で使ううちわ約100枚を毎年ひとりで作っているそうです。クバの葉でうちわを作るに

は、まず葉を乾燥させなければなりません。乾燥は夏の強い日差しでも一日に片面しか乾燥させることができなく、完全に乾燥させるには2日間かかります。冬場の太陽では乾燥させるのは難しいそうです。その後固定バサミで大まかな形をつくり、ブラシで葉についたホコリやゴミを取り除き、きれいに洗います。そして葉を広げるため

にスチームアイロンで葉を伸ばします。アイロンがなかつた頃は、畳の下に敷いたりして伸ばさなければならなかつたため、大変な作業だつたと金星さんは話します。最後にハサミでうちわの形に整え完成です。クバの葉はうちわのほか、笠や蓑(みの)、釣瓶(つるべ)、柄杓(ひしゃく)など、八重山では昔から民具の材料としてよく使



## 就労継続支援事業所 いこいの家通信

石垣金星さんを招き、クバの葉でうちわ作り



スチームアイロンで葉を伸ばしていく。

NPO法人結いの会 TEL : 0980-84-1636  
代表 大瀬守哲 : 090-8293-9462  
<http://ikoi.xii.jp> [yuinokai@mco.ne.jp](mailto:yuinokai@mco.ne.jp)